

記録区分番号：EMW630014
作成日：2019年5月31日


2018年度 環境経営レポート

(2018年4月1日～2019年3月31日)




白山商事株式会社

ISO26000認証・登録番号 0001382



環境経営方針



【基本理念】

白山商事株式会社は、お客様が必要とする商品を販売する際には、環境に配慮した商品やカーボンオフセット商品など環境にやさしい商品の提供を推進し、快適で豊かに暮らすことができる社会の実現に貢献するとともに、業績拡大に向けて環境経営に取り組んでまいります。


【行動方針】

1. お客様の課題や要望にこたえるため、当社の持つ技術やネットワークを通じて、環境配慮型商品の販売を推し進めます。
2. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、次の環境目的を定めて環境保全の継続的改善を推進いたします。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の抑制
 - (3) 水使用量の抑制
 - (4) 化学物質の抑制
3. 環境経営活動を推進するために、環境経営マネジメントシステムを構築し、定期的に見直し継続的改善に努めます。
4. 当社に適用される環境関連法規制及び契約を遵守します。
5. 全構成員に環境経営方針を周知徹底し、継続的に環境教育を実施することにより、構成員の環境に対する知識を高め、環境に配慮した事業を促進します。
6. 地域社会の一員として、環境コミュニケーションに積極的に取り組み、当社のホームページに環境経営方針および環境経営レポートを掲載し、当社の環境への姿勢を広く内外に示してまいります。

2003年6月1日(制定)

2018年10月1日(改定)

白山商事株式会社
代表取締役社長 山本 廣明



目 次

1 当社の概要

2 環境活動組織図

3 環境活動の責任と権限

4 環境目標及び達成

4-1 目標達成状況（2018年度）

4-2 直近3年間達成状況の推移（2016年度～2018年度）

4-3 中期目標値（2019年度～2021年度）

5 2018年度 環境目標達成のための活動

6 2018年度環境活動の取組結果と評価

6-1 目標達成の結果と評価

6-2 その他の取組状況

7 2018年度 環境活動の取組内容

8 関連法令法規への違反の有無

9 訴訟等の有無

10 代表者による全体評価と見直し結果

付 環境配慮型商品の紹介

1 当社の概要

事業者名：白山商事株式会社

URL:<http://www.hakusanshoji.co.jp>

所在地：（本社）東京都豊島区南池袋1丁目10番13号荒井ビル6階

（物流センター）東京都品川区勝島1丁目4番11号東京倉庫(株)勝島倉庫317号棟

代表者：山本 廣明／代表取締役社長

環境管理責任者：森 和夫／営業本部長

環境担当者：森田 義和／総務部長（環境委員会事務局）

連絡先：電話番号（03）5958-9411

FAX 番号（03）5958-9415

E-mail：morita@hakusanshoji.co.jp

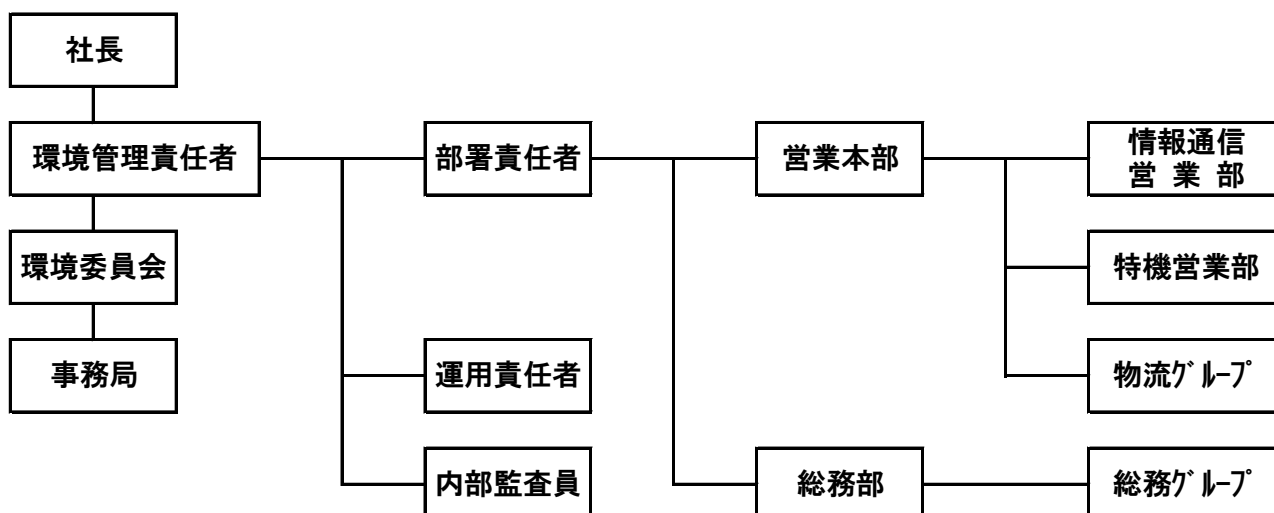
事業内容：通信機器類・金属圧接溶接機等の販売

事業規模

事業年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上高（百万円）	1,193	1,079	981
従業員数	23	22	22
・本社	21	20	20
・物流センター	2	2	2
延床面積（m ² ）	420	420	513
・本社	195	195	288
・物流センター	225	225	225

（注）当社は3月決算。2018年度は「2018年4月1日から2019年3月31日」まで。

2 環境活動組織図



3 環境活動の責任と権限

社長	① 環境マネジメントシステムの最高責任者
	② 環境経営方針の決定
	③ 環境管理マニュアルの承認
	④ 環境管理責任者の任命
	⑤ 環境委員会の委員を任命
	⑥ 環境マネジメントシステムの評価と見直し
	⑦ 環境経営における課題とチャンスの明確化
	⑧ 環境経営における効果的な実施体制の構築化
	⑨ 環境経営に必要な経営資源を用意
環境管理 責任者	① 環境マネジメントシステムの確立、運用、維持及び改善
	② 環境管理マニュアルの審議
	③ 「環境への負荷の自己チェック表」
	④ 「環境への取組の自己チェック表」の内容を環境活動レポートに記載
	⑤ 「環境経営活動計画表」の審議
	⑥ 「環境経営活動計画表」の承認
	⑦ 環境経営目標の達成状況の承認及び不適合扱いの決定
	⑧ 教育訓練計画及び結果の承認
	⑨ 内部監査員を任命
	⑩ 内部監査計画及び監査結果の承認
	⑪ 環境マネジメントシステムの評価用資料の作成と社長への報告
	⑫ 環境の負荷及び取組の自己チェック表作成
	⑬ 手順書の承認
部署責任者	① 部署内への環境マネジメント活動の周知
運用責任者 (共通)	① 環境経営目的・目標の達成手段の立案
	② 環境経営目的・目標の周知と徹底
	③ 環境経営活動計画表の作成
	④ 3ヶ月毎の達成状況について環境管理責任者に報告
	⑤ 教育訓練の実施と報告
	⑥ 不適合の是正処置についての立案・実施・報告
環境委員会	① 環境マネジメントシステムに関する基本計画の策定
	② 環境管理マニュアルの制定・改訂の審議
	③ 環境負荷の特定
	④ 環境経営目標の設定
	⑤ 環境経営目標の達成状況についての審議
	⑥ 教育訓練計画の審議と教育担当者の決定
	⑦ 環境経営レポートの審議
	⑧ 内部監査報告書の審議
	⑨ 運用責任者の決定
	⑩ 環境マネジメントシステム見直し評価の社長指示を受け、具体策の審議
事務局	① 環境文書及び環境記録の保存
	② 公開すべき環境文書及び環境記録のHAKUSAN-NET（社内用Web）への掲載
	③ 環境委員会議事録の作成・保管
内部監査員	① 内部監査を実施し、結果を的確に評価し、環境管理責任者に報告
	② 客観的事実に基づく監査を実施する為に必要な資料の提供及び説明を被監査部門へ求めることが出来る。
構成員	① 環境に関する業務の実行

4 環境目標及び達成

4-1 目標達成状況（2018年度）

項 目		目 標	実 績	達成率
二酸化炭素 排 出 量	本社	20,000	20,124	99%
	物流センター	3,200	2,823	113%
	電気使用量 kwh/年	23,200	22,947	101%
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	10,718	10,602	101%
廃 棄 物 排 出 量	本社	--	76.1	--
	物流センター	--	30.6	--
	可燃ごみ kg/年	--	106.7	--
	本社	--	73.2	--
	物流センター	--	14.7	--
	不燃ごみ kg/年	--	87.9	--
水使用量	本社	--	150.0	--
	物流センター	15.0	14.0	107%
	水使用量 m ³ /年	--	164.0	--
グリーン購入	事務用消耗品購入額比 %	71.5	88.0	123%
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	70,000	34,812	50%
紙使用量削減	A ⁴ -用紙使用量 kg/年	241	235	103%
	段ボール使用量 kg/年	287	264	109%

※1) 達成率＝目標／実績

※2) 二酸化炭素・実排出係数は「2018.12 東京電力E+G-パナソニック報告：” 0.462 (t-CO₂/kWh) ”」を使用

【目標設定の根拠】

- ・二酸化炭素排出量は、前々年度に本社事務所移転を行った後「移転後3度目の通年目標」となった。目標値は、本社分、物流センター共に前年度実績並みとした。
- ・廃棄物排出量について、長年の活動により若干の増減はあるものの、削減目標の設定は行わない事とした。但し、排出量の計測は、従来通り行う事とした。
- ・水使用量：本社では、ビル全体での使用量からの配賦の為、目標の設定は行わず、使用量の把握のみとした。物流センターでは、従来と同等の目標とした。
- ・グリーン購入は、従来の目標レベルを維持した。
- ・環境配慮商品の販売では、前年に目標を達成した事、PCB保管箱での大型案件が受注できそうな事、ハイブリッド溶接機とアルミ端子が新商材として動きそうな事、を考慮して、前年実績の10%増を目標とした。
- ・コピー用紙使用量では、「アルミ端子拡販」「海外向けレールガス圧接機」のプレゼン資料での消費量が大幅に増加した為、前年実績の93%、前年目標の5%増である、55,500枚を目標とした。

【実績】

- ・二酸化炭素排出量（電気使用量）では、本社で6月に(株)白山が退去し、その配賦分がなくなった為、目標を達成できなかったが、物流センターでの削減があり、全社では101%で目標を達成した。
- ・物流センターの水使用量では、目標を達成した。
- ・グリーン購入では、若干の非グリーン品の購入があったものの、目標を達成した。
- ・環境に優しい商品の販売促進では、PCB保管箱で大型案件が消滅し、ハイブリッド溶接機とアルミ端子の拡販が期待外れの状況で、50%の達成であった。
- ・紙の使用量は、第1Qで大幅な目標未達となった為、運用責任者の問題提起により、A⁴-用紙への裏紙の使用制限を見直した事により、年間での目標を達成する事が出来た。当社としての活動が定着している事を実感した。一方、段ボール使用量では、再利用の活動が定着していて、目標を達成した。

4-2 直近3年間達成状況の推移（2016～2018年度）

項 目		2016年度			2017年度			今年度（2018年度）		
		計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
二酸化炭素 排 出 量	本社	22,200	19,013	117%	20,000	21,534	93%	20,000	20,124	99%
	物流ﾂﾀ	3,200	2,947	109%	3,200	2,923	109%	3,200	2,823	113%
	電気使用量 kWh/年	25,400	21,960	116%	23,200	24,457	95%	23,200	22,947	101%
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	12,700	10,980	116%	11,275	11,886	95%	10,718	10,602	101%
廃 棄 物 排 出 量	本社	98.0	97.0	101%	98.0	88.4	111%	--	76.1	--
	物流ﾂﾀ	50.0	45.8	109%	50.0	40.2	124%	--	30.6	--
	可燃ごみ kg/年	148.0	142.8	104%	148.0	128.6	115%	--	106.7	--
	本社	14.4	13.8	104%	58.0	58.0	100%	--	73.2	--
	物流ﾂﾀ	20.0	15.0	133%	20.0	15.9	126%	--	14.7	--
	不燃ごみ kg/年	34.4	28.8	119%	78.0	73.9	106%	--	87.9	--
水使用量	本社	--	--	--	--	--	--	--	150.0	--
	物流ﾂﾀ	15.0	11.0	136%	15.0	10.0	150%	15.0	14.0	107%
	水使用量 m ³ /年	15.0	11.0	136%	15.0	10.0	150%	--	164.0	--
ｸﾞﾘｰﾝ購入	事務用消耗品購入額比 %	70.5	74.6	106%	71.0	60.0	85%	71.5	88.0	123%
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円 (2014年度は%)	50,000	43,720	87%	51,000	65,410	128%	70,000	34,812	50%
紙使用量削減	北用紙使用量 kg/年	231	211	109%	231	259	89%	241	235	103%
	段ボール使用量 kg/年	299	252	119%	293	246	119%	287	264	109%

※1) 二酸化炭素・実排出係数は「2018.12 東京電力Iｸﾞﾘｰﾝ-ﾊﾟｰﾄﾅｰ報告 : ” 0.462 (t -CO₂/kWh) ” 」を使用

4-3 中期目標値（2019年度～2021年度）

項 目		今年度実績	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素 排 出 量	本社	20,124	23,000	23,000	23,000
	物流センター	2,823	3,200	3,200	3,200
	電気使用量 kwh/年	22,947	26,200	26,200	26,200
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	10,602	12,104	12,104	12,104
廃 棄 物 排 出 量	本社	76.1	現状維持（※1）		
	物流センター	30.6			
	可燃ごみ kg/年	106.7			
	本社	73.2			
	物流センター	14.7			
	不燃ごみ kg/年	87.9			
水使用量	本社	150.0	--	--	--
	物流センター	14.0	15.0	15.0	15.0
	水使用量 m ³ /年	164.0	--	--	--
グリーン購入	事務用消耗品購入額比 %	88.0	今年度より、目標項目から除外（※2）		
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	34,812	70,000	71,000	72,000
紙使用量削減	A ⁴ -用紙使用量 kg/年	235	241	241	241
	段ボール使用量 kg/年	264	281	281	281

- ① 二酸化炭素排出量⇒電気使用量は、本社ビルに於いて、昨年度関連会社に移転し配賦分がなくなった事、昨今の異常気象による温度上昇を配慮して、中長期目標の見直しを実施した。（本社）。
- ② 廃棄物排出量削減の意識は浸透しており、前年度より目標設定から除く事とした。
※1：今後目標設定はせず、排出量の計測は継続して実施する。
- ③ 水使用量は、15.0m³の維持継続とした。（物流センター）
（本社は、テナントビルの為、弊社分としての把握ができず、物流センターのみとする。）
（但し、本社では水使用量の計測は実施する事とする。）
- ④ グリーン購入は、エコアクション21ガイドライン 2017年版 より、要求事項から削除されたため、目標値の設定を行わない。
- ⑤ 環境に優しい商品の販売促進では、昨年度、目標が未達成であったが、新年度においては、アルミ端子並びにハイブリッド溶接機での販売が期待出来る為、昨年度実績の2倍となる70,000千円を目標に設定した。
中期目標では、継続した販売が期待できるため、毎年1,000千円を増加した目標とした。
- ⑥-1 紙使用量削減・A⁴-用紙は、年間で何とか目標値をクリアする事が出来た。新年度には環境にやさしい商品の販売促進の為に、プレゼンの機会が増し、コピー用紙の消費が増加する可能性があるが、前年度と同等の目標を継続させる事とした。
- ⑥-2 紙使用量削減・段ボールは、前年度目標を2%削減する目標としたが、以降は目標値の維持で策定した。

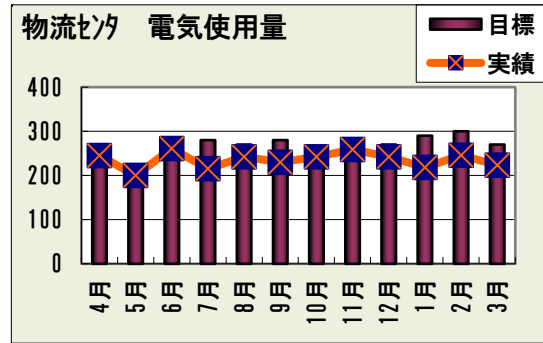
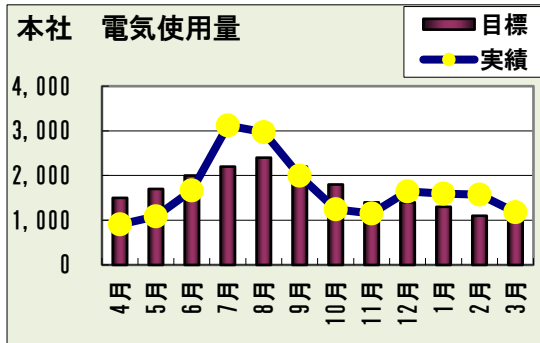
5 2018年度実施した環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	<p>IT設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃を基本とする</p> <p>冷房使用は、原則就業時間内とする</p> <p>昼休み時間、照明消灯の励行</p> <p>OA機器未使用時電源OFF励行（本社、センター）</p> <p>クーリング、ウォーミングの実施</p> <p>残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF</p>
廃棄物排出量	可燃ごみ分別の徹底 及び排出量の計量	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールの厳守・徹底</p>
	不燃ごみ分別の徹底 及び排出量の計量	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールの厳守・徹底</p> <p>梱包材料の再利用化</p>
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールの厳守・徹底</p>
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底
グリーン購入	グリーン購入の促進	グリーン対象品かどうか事前確認し手配
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	<p>HPの積極的活用</p> <p>環境商品販売品目を増やす</p>
紙使用量削減	紙-用紙使用量の削減	<p>社内伝達書類のメール化の徹底</p> <p>試し印刷時の裏紙使用の徹底</p> <p>期限切れ保管書類の再利用の徹底</p> <p>裏紙利用制限の緩和により、使用可能な裏紙量を増加させた</p> <p>※A4・A3を対象に管理</p>
	段ボール箱使用量の削減	<p>段ボール箱の再利用</p> <p>簡易包装の徹底</p> <p>毎月使用量を公表し、使用量を意識する</p> <p>商品にあった箱かどうかを確認しあう</p>

6 2018年度 環境活動の取組結果と評価

6-1 目標達成の結果と評価

【1】 二酸化炭素排出量の削減 ⇒ 電気使用量の削減



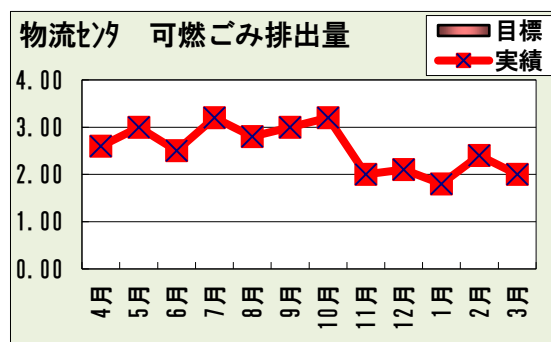
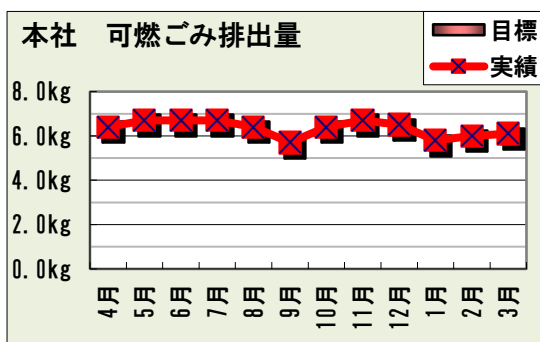
2018年度目標	2018年度実績
20,000 kWh	20,124 kWh
9,240 kg-CO ₂	9,297 kg-CO ₂
達成率 99 %	

2018年度目標	2018年度実績
3,200 kWh	2,923 Wh
1,478 kg-CO ₂	1,350 kg-CO ₂
達成率 109 %	

【評価】

今年度は、6月に関連会社が退去した事により、配賦分が無くなり、計画を達成する事が出来なかった。しかしながら、関連会社が負担していた約30%分が負担増となった状況で、該当部分での電気使用を極力抑えた事、その他部分での節電意識が浸透した事もあり、僅かに目標を上回る結果で済ますことが出来た。センターでは建物環境に変化はなく、目標を達成しているが、作業環境にも配慮しつつ、節電活動を実施して貰いたい。

【2-1】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 可燃ごみ排出量の削減



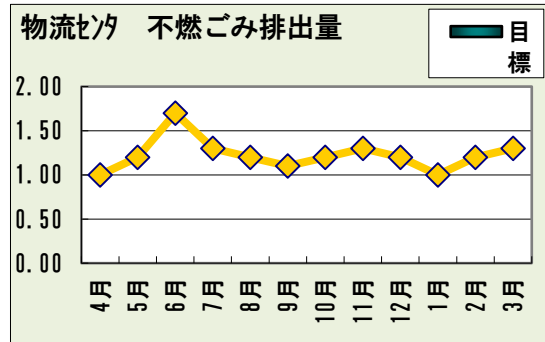
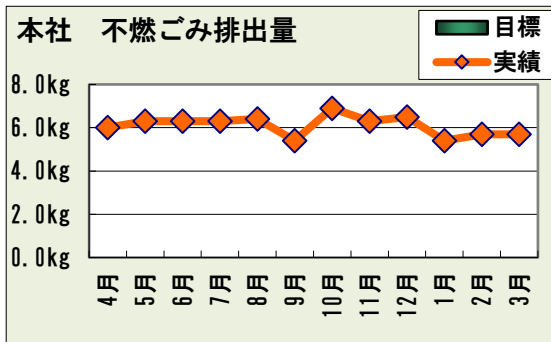
2018年度目標	2018年度実績
--	76.1 kg
達成率 --- %	

2018年度目標	2018年度実績
--	30.6 kg
達成率 --- %	

【評価】

目標値の設定を廃止した為、達成度の評価は出来ないものの、分別意識が浸透していると判断する。

【2-2】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 不燃ごみ排出量の削減



2018年度目標	2018年度実績
--	73.2 kg
達成率 --- %	

2018年度目標	2018年度実績
--	14.7 kg
達成率 --- %	

【評価】

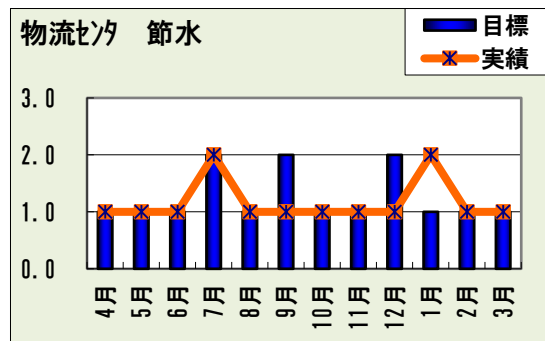
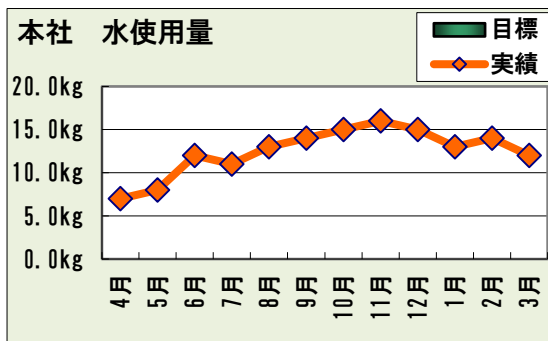
目標値の設定を廃止した為、達成度の評価は出来ないものの、分別意識が浸透していると判断する。

【2-3】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 資源ごみ指定物100%回収

【評価】

全社でルールが守られ、指定資源ごみは100%の回収（再利用化含む）を達成した。

【3】 水使用量の削減



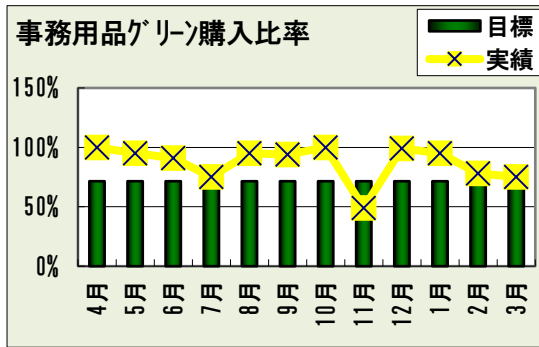
2018年度目標	2018年度実績
---	150 m ³
達成率 --- %	

2018年度目標	2018年度実績
15 m ³	14 m ³
達成率 107 %	

【評価】

節水意識の向上、節水方法定着により、目標を達成した。

【4】グリーン購入の推進

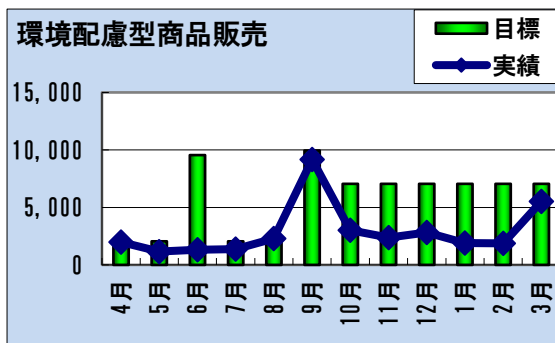


2018年度目標	2018年度実績
71.5 %	88 %
達成率 123 %	

【評価】

今年度も若干の非グリーン品の購入があったものの、僅かな金額であり、目標を達成した。着実に定着している。

【5】環境に優しい商品の販売促進

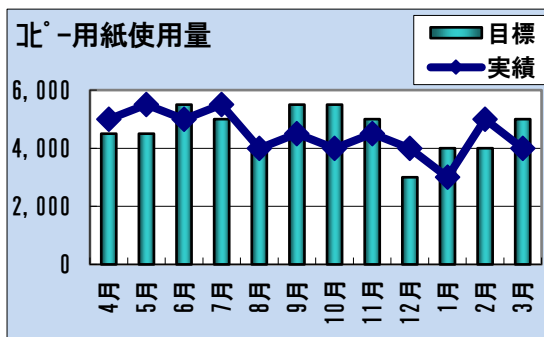


2018年度目標	2018年度実績
70,000千円	34,812千円
達成率 50 %	

【評価】

PCB保管箱の大型案件が消滅した事、ハイブリッド溶接とアルミ線用端子の販売で期待を下回る状況で、達成率が50%と寂しい結果となった。2019年度以降では、アルミ線用端子の上市が確実な状況で、環境活動の中で中心的な項目としていく予定です。

【6-1】省資源紙使用量の削減 ⇒ 北^レ-用紙使用量の削減

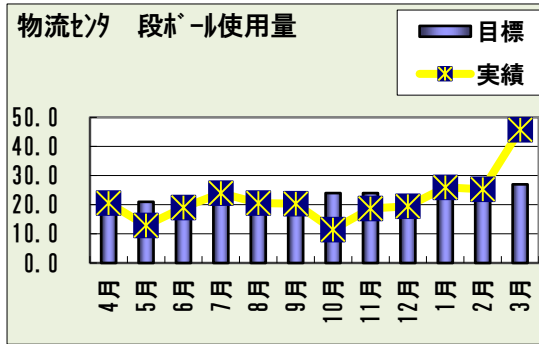


2018年度目標	2018年度実績
241 kg	235 kg
達成率 103 %	

【評価】

第一Qで期間目標を超過した為、運用責任者からの問題提起により、コピー用紙への裏紙の使用制限を見直し、裏紙として再利用が可能な範囲を拡大した。併せて、試し印刷や社内資料では裏紙を再利用するよう、案内をすると共に、コピー機への表示を行い、コピー用紙使用量の削減に向けた活動を実行した。この結果、目標を達成する事が出来た。

【6-2】省資源紙使用量の削減 ⇒ 段ボール使用量の削減



2018年度目標	2018年度実績
287 kg	264 kg
達成率 109 %	

【評価】

使用済み段ボールの効率的な再利用、簡易包装（紙製袋）の活用を徹底し、年間目標を達成した。但し、3月期には、再利用出来る段ボールが減少して、使用量が急激に増加した。削減目標の限界に近付きつつある事が感じられた。

6-2 その他の取組状況

【出荷用トラックからの二酸化炭素排出量削減】
 運送委託業者への指導事項は昨年同様実施し、特にアイドリングストップの励行に付いての要請を行っている。今後も引き続き監視を行う。

運送委託業者のトラックの【窒素酸化物および粒子状物質（NO_x）のPM基準】
 遵守されていることを確認した。今後も引き続き監視を行う。

7 2019年度実施する環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	<p>基本的なIT設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃とする</p> <p>ITの使用は、原則就業時間内とする</p> <p>昼休み時間、照明消灯の励行</p> <p>OA機器未使用時電源OFF励行（本社） 但し、未使用時間の設定が必要。</p> <p>クールビズ、ウォームビズの実施</p> <p>残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF</p>
廃棄物 排出量の把握	可燃ごみ排出量 （管理対象外）	分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。
	不燃ごみ排出量 （管理対象外）	<p>分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。</p> <p>梱包材料の再利用化</p>
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	<p>HPの積極的活用</p> <p>アルミ線用端子でパンフレットを作成し、販促活動に力を注ぐ</p> <p>全員による積極的PRの実施</p>
紙使用量削減	紙-用紙使用量の削減	<p>社内伝達書類のメール化の徹底</p> <p>試し印刷時の裏紙使用の徹底</p> <p>期限切れ保管書類の再利用の徹底</p> <p>※A4・A3を対象に管理</p>
	段ボール箱使用量の削減	<p>段ボール箱の再利用</p> <p>簡易包装の徹底</p> <p>毎月使用量を公表し、使用量を意識する</p> <p>商品サイズに合わせた包装</p>

8 関連法規への違反の有無

- ・ 当社の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、遵守しております。

法令法規等名称	遵守状況 (確認済：○)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB廃棄物特措法）	○
品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例	○
豊島区廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	○
特定家庭用機器再商品化法	○
消防法	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	○

9 訴訟等の有無

関係機関からの違反等の指摘はなかった。

10 代表者による全体評価と見直し結果、及び今後の活動方針

今年度の目標は概ね達成することができましたが、環境配慮型商品の販売は目標を下回りました。次年度は環境配慮型商品の品目を増やして目標達成を目指します。また、エコアクション21ガイドライン2017版で更新審査を受けて、無事認証されました。事業活動に伴う環境負荷の低減による貢献度は低いので、引き続きカーボンオフセットへの参加や環境に優しい商品の取り扱いを増やし、持続可能な社会に少しでも貢献していく所存です。

平成31年3月
代表取締役社長 山本 廣明

弊社の環境活動レポートをご覧くださいましてありがとうございます。
環境レポートにも報告しておりますように、弊社では「環境に優しい商品」の販売に努めております。その対象としております商品について、以下に紹介させていただきます。

① レジボックス（PCB保管箱）

レジボックスは、特別措置法で規制されています「PCB（Poly Chlorinated Biphenyl＝ポリ塩化ビフェニール）廃棄物」を安全に保管する堅固な容器です（PCB保管箱）。



② アルミ電線用接続端子

近年トランス業界や電力線業界、自動車業界では、銅価格の上昇以外にも「製品重量の軽量化≒省エネ」を目的として銅電線のアルミ化を促進させる動きがあります。しかしアルミ電線の接続には大きな課題（電解腐食、酸化被膜、強度低下、応力緩和）があり実用化阻害の大きな要因となっています。弊社では、これらの課題を解決するアルミ電線用の接続端子技術を販売しております。



③ ハイブリッド溶接機

ビルの鉄筋コンクリート構造とは、引張に強い鉄筋と圧縮に強いコンクリートを組合せたものですが、帯筋を溶接構造の閉鎖型にすることで耐震性を更に高めることができます。近年ビルの高層化に伴い鉄筋には高強度材が多く採用されるようになってきました。

弊社の溶接機は、複合溶接工程（ハイブリッド溶接）方式を採用することで、高強度材鉄筋を高性能（強い接合強度）、高信頼性（安定した品質）、そして経済的（短時間）に溶接することが出来る装置です。



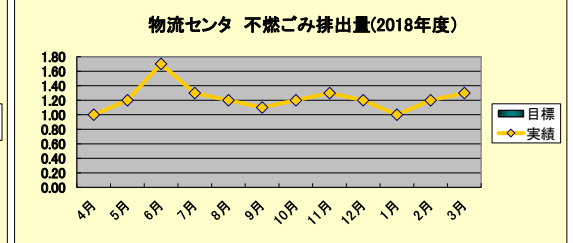
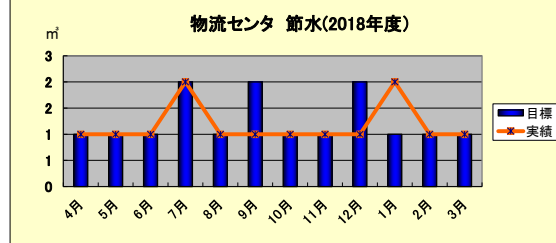
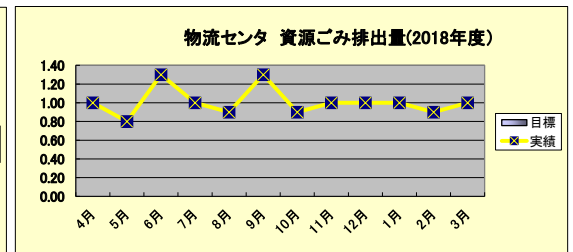
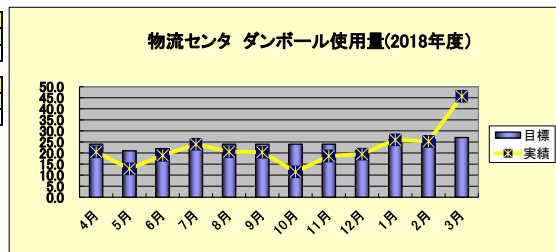
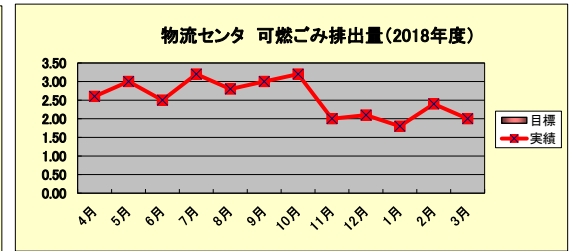
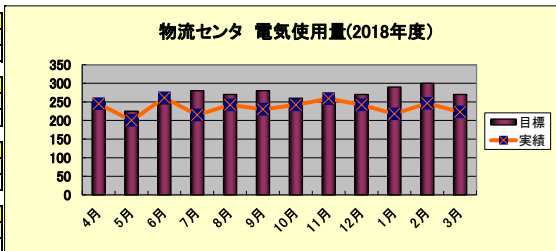
【お電話でのお問合せ先】

03-5958-9411（平日9:00～17:00）

- ① ホジボックス（佐藤）
- ② アルミ電線用接続端子（賀川、森）
- ③ ハイブリッド溶接機（坂本、田中）

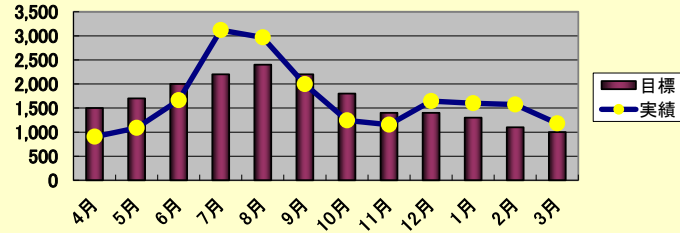
土・日・祝・時間外はWEBフォームからお問合せ下さい。

消費電力		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		250	225	245	280	270	280	260	260	270	280	300	270	3200kwh
実績		245	200	261	215	242	230	242	259	242	213	248	223	2823kwh
段ボール使用量		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		24.0	21.0	22.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	21.0	26.0	26.0	27.0	287.0kg
実績		20.6	12.9	19.0	24.0	20.6	20.4	11.5	18.7	19.5	26.0	25.3	45.7	264.2kg
節水		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		1	1	1	2	1	2			2	1	2		15.0
実績		1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1		14.0
可燃ごみ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0kg
実績		2.6	3.0	2.5	3.2	2.8	3.0	3.2	2.0	2.1	1.8	2.4	2.0	30.6kg
不燃ごみ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0kg
実績		1.0	1.2	1.7	1.3	1.2	1.1	1.2	1.3	1.2	1.0	1.2	1.3	14.7kg
資源ゴミ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標		--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.0kg
実績		1	0.8	1.3	1	0.9	1.3	0.9	1	1	1	0.9	1	12.1kg

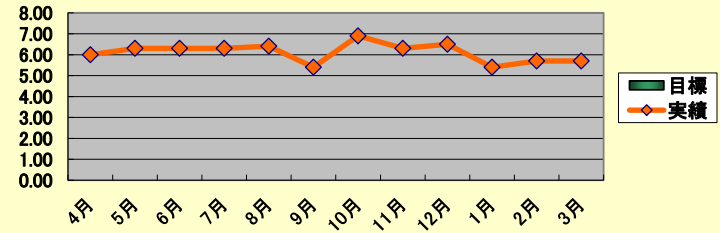


		消費電力												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		1,500	1,700	2,000	2,200	2,400	2,200	1,800	1,400	1,400	1,300	1,100	1,000	20,000kWh
実績		904	1,088	1,663	3,118	2,968	1,997	1,243	1,153	1,642	1,597	1,572	1,179	20,124kWh
		コピー用紙												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		4,500	4,500	5,500	5,000	4,000	5,500	5,500	5,000	3,000	4,000	4,000	5,000	55,500
実績		5,000	5,500	5,000	5,500	4,000	4,500	4,000	4,500	4,000	3,000	5,000	4,000	54,000
		環境配慮型商品販売												42,000
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		2,050	2,050	9,550	2,050	2,050	9,950	7,050	7,050	7,050	7,050	7,050	7,050	70,000
実績		1,994	1,163	1,318	1,381	2,294	9,166	3,016	2,379	2,821	1,898	1,873	5,509	34,812
		不燃ごみ												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.00kg
実績		6.0	6.3	6.3	6.3	6.4	5.4	6.9	6.3	6.5	5.4	5.7	5.7	73.20kg
		事務用品グリーン購入率												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%	71.5%
実績		100.0%	95.0%	91.0%	75.0%	95.0%	94.0%	100.0%	49.0%	99.0%	95.0%	78.0%	75.0%	88.0%
		可燃ごみ排出量												87%
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0.00kg
実績		6.4	6.7	6.7	6.7	6.4	5.7	6.4	6.7	6.5	5.8	6.0	6.1	76.10kg
		資源ゴミ												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0
実績		22	22	29	39	30	44	20	31	20	32	11	17	316.8
		水使用量												87%
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0
実績		7.0	8.0	12.0	11.0	13.0	14.0	15.0	16.0	15.0	13.0	14.0	12.0	150

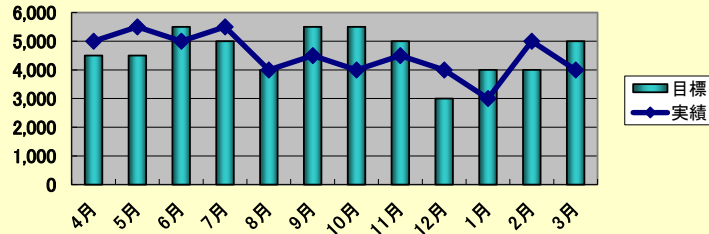
本社 電気使用量(2018年度)



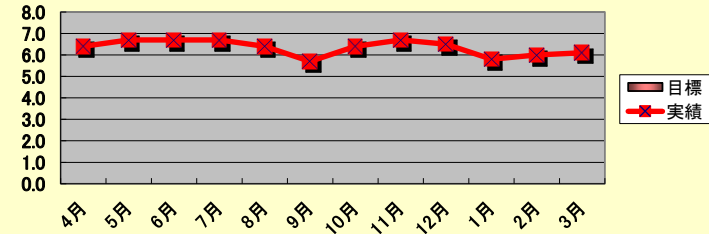
本社 不燃ごみ排出量(2018年度)



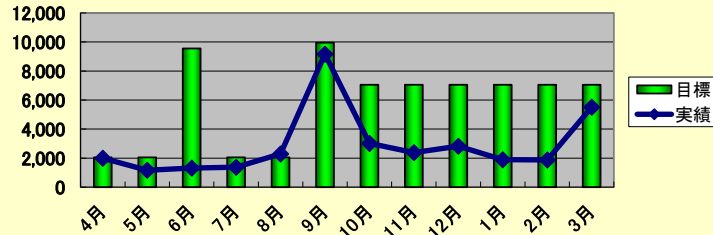
コピー用紙使用量(2018年度)



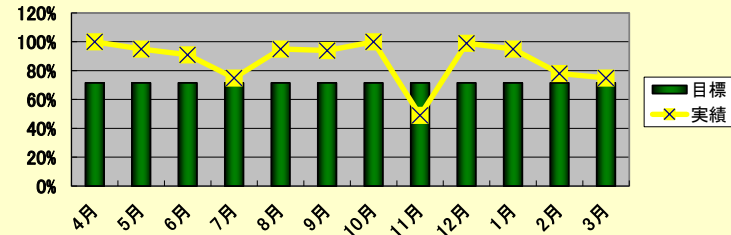
本社 可燃ごみ排出量(2018年度)



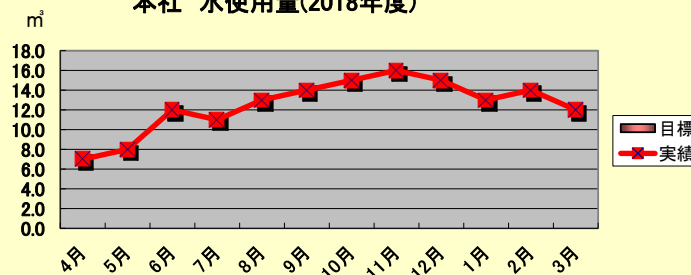
環境配慮型商品販売(2018年度)



事務用品グリーン購入比率(2018年度)



本社 水使用量(2018年度)



資源ゴミ(2018年度)

